

平成30年度 第5回 TBRCセミナー

カスパーゼ-1による細胞死の 分子機序と意義

つちや こうすけ

土屋 晃介

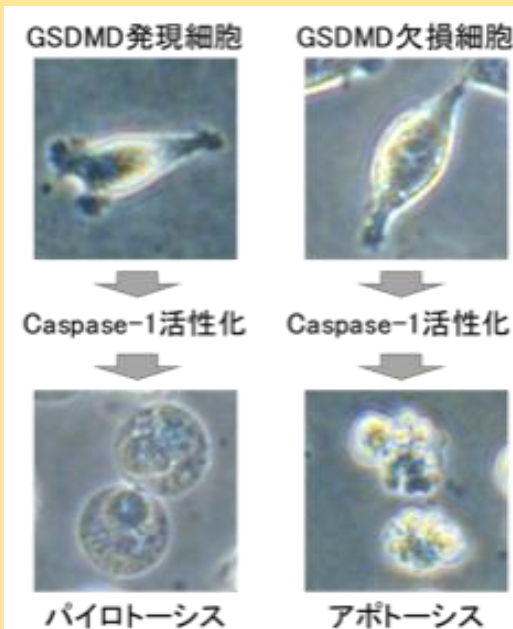
金沢大学 がん進展制御研究所 免疫炎症制御研究分野

日時：2019年1月22日（火曜日）16：30～17：30

場所：熱帯生物圏研究センター 分子生命科学研究施設 講義室

カスパーゼファミリー是一群のシステインプロテアーゼであり、その多くはアポトーシスの誘導に関わる。一方、カスパーゼ-1は病原体や刺激性物質などへの自然免疫応答としてインフラマソームで活性化され、パイロトーシスと呼ばれるネクローシス様のプログラム細胞死(計画的ネクローシス)を誘導する。

最近、我々は、カスパーゼ-1がパイロトーシスとアポトーシスの両方を誘導できることを見出した。本セミナーでは、アポトーシスと計画的ネクローシスの解説を交え、カスパーゼ-1依存的細胞死のシグナル伝達経路および生理的役割に関する我々の知見を紹介し、生体における細胞死の意義について討論したい。



多くの学生、教職員の参加を希望いたします。

お問い合わせ：熱帯生物圏研究センター 分子感染防御学分野
梅村 正幸 (umemura@comb.u-ryukyu.ac.jp, 内線8971)